

## VLOOKUP 関数

いろいろなシーンで使用可能で覚えておくと非常に便利な関数なので、エコヒイキで取り上げます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	売上日	氏名	所属番号	所属			
2	1月5日	北海道一郎	1				
3	1月5日	青森花子	2				
4	1月5日	福島四郎	4				
5	1月6日	北海道子	1				
6	1月7日	宮城二郎	3				
7	1月7日	北海道一郎	1				
8	1月8日	弘前次郎	2				
9	1月8日	福島六郎	4				
10	1月9日	青森花子	2				
11	1月9日	福島七郎	4			所属番号	所属
12	1月9日	八戸八郎	2			1	札幌本店
13	1月10日	北海道雪子	1			2	弘前営業所
14	1月10日	宮城五郎	3			3	仙台支店
						4	郡山営業所

B列の営業マンがどこの所属かを、所属番号で記入してある票に、所属しているところを後から書き足したい場合、VLOOKUP 関数の登場です。

所属番号と所属の対応表は、別途 F11:G14 にあります。

関数ウィザードもしくは直接入力で、  
=VLOOKUP (C2,F11:G14,2)  
とします。

F11 から G14 に C2 と同じ文字列が存在する場合、F・G列の2列目の文字列(例では G11)をアクティブセルに自動入力してくれます。

D2     =VLOOKUP(C2,F11:G14,2)

	A	B	C	D	E	F	G
1	売上日	氏名	所属番号	所属			
2	1月5日	北海道一郎	1	札幌本店			
3	1月5日	青森花子	2				
4	1月5日	福島四郎	4				
5	1月6日	北海道子	1				
6	1月7日	宮城二郎	3				
7	1月7日	北海道一郎	1				
8	1月8日	弘前次郎	2				
9	1月8日	福島六郎	4				
10	1月9日	青森花子	2			所属番号	所属
11	1月9日	福島七郎	4			1	札幌本店
12	1月9日	八戸八郎	2			2	弘前営業所
13	1月10日	北海道雪子	1			3	仙台支店
14	1月10日	宮城五郎	3			4	郡山営業所

	A	B	C	D	E	F	G
1	売上日	氏名	所属番号	所属			
2	1月5日	北海道一郎	1	札幌本店			
3	1月5日	青森花子	2	弘前営業所			
4	1月5日	福島四郎	4	郡山営業所			
5	1月6日	北海道子	1	#N/A			
6	1月7日	宮城二郎	3	#N/A			
7	1月7日	北海道一郎	1	#N/A			
8	1月8日	弘前次郎	2	#N/A			
9	1月8日	福島六郎	4	#N/A			
10	1月9日	青森花子	2	#N/A		所属番号	所属
11	1月9日	福島七郎	4	#N/A		1	札幌本店
12	1月9日	八戸八郎	2	#N/A		2	弘前営業所
13	1月10日	北海道雪子	1	#N/A		3	仙台支店
14	1月10日	宮城五郎	3	#N/A		4	郡山営業所

次にオートフィルで下段にコピーしてみると、エラーになります。

これは、オートフィルでは  
=VLOOKUP (C2,F11:G14,2)

↓

=VLOOKUP (C3,F12:G15,2)

↓

=VLOOKUP (C4,F12:G16,2)

というように、余計なところまで連番として数値が増えるためです。

Excel では =VLOOKUP (C2,F:G,2) のように、F と G 列全てを選択できるため、問題はありませんが Calc ではできないため、異なる方法でこの問題から回避します。方法はいくつかありますが、現実的なものを2つご紹介します。

参考 F列の所属番号が同じで、G列の所属に異なるものがあったらどうなるでしょう。

Calc や Excel では、必ず行番号の若番にプライオリティがあります。

絶対参照による回避

D2							
	A	B	C	D	E	F	G
1	売上日	氏名	所属番号	所属			
2	1月5日	北海道一郎	1	札幌本店			
3	1月5日	青森花子	2				
4	1月5日	福島四郎	4				
5	1月6日	北海道子	1				
6	1月7日	宮城二郎	3				
7	1月7日	北海道一郎	1				
8	1月8日	弘前次郎	2				
9	1月8日	福島六郎	4				
10	1月9日	青森花子	2			所属番号	所属
11	1月9日	福島七郎	4			1	札幌本店
12	1月9日	八戸八郎	2			2	弘前営業所
13	1月10日	北海道雪子	1			3	仙台支店
14	1月10日	宮城五郎	3			4	郡山営業所

F11 と G14 をカウントアップさせないために数字の前に【\$】を付します。

D2:D14							
	A	B	C	D	E	F	G
1	売上日	氏名	所属番号	所属			
2	1月5日	北海道一郎	1	札幌本店			
3	1月5日	青森花子	2	弘前営業所			
4	1月5日	福島四郎	4	郡山営業所			
5	1月6日	北海道子	1	札幌本店			
6	1月7日	宮城二郎	3	仙台支店			
7	1月7日	北海道一郎	1	札幌本店			
8	1月8日	弘前次郎	2	弘前営業所			
9	1月8日	福島六郎	4	郡山営業所			
10	1月9日	青森花子	2	弘前営業所		所属番号	所属
11	1月9日	福島七郎	4	郡山営業所		1	札幌本店
12	1月9日	八戸八郎	2	弘前営業所		2	弘前営業所
13	1月10日	北海道雪子	1	札幌本店		3	仙台支店
14	1月10日	宮城五郎	3	仙台支店		4	郡山営業所

これで、オートフィルでコピーしても大丈夫になりました。

セル範囲に名前の定義をする

参照するデータの範囲を選択すると、左上に F11:G14 というセル番地が表示されます。

F11:G14							
	A	B	C	D	E	F	G
1	売上日	氏名	所属番号	所属			
2	1月5日	北海道一郎	1	札幌本店			
3	1月5日	青森花子	2	弘前営業所			
4	1月5日	福島四郎	4	郡山営業所			
5	1月6日	北海道子	1	札幌本店			
6	1月7日	宮城二郎	3	仙台支店			
7	1月7日	北海道一郎	1	札幌本店			
8	1月8日	弘前次郎	2	弘前営業所			
9	1月8日	福島六郎	4	郡山営業所			
10	1月9日	青森花子	2	弘前営業所		所属番号	所属
11	1月9日	福島七郎	4	郡山営業所		1	札幌本店
12	1月9日	八戸八郎	2	弘前営業所		2	弘前営業所
13	1月10日	北海道雪子	1	札幌本店		3	仙台支店
14	1月10日	宮城五郎	3	仙台支店		4	郡山営業所

所属							
	A	B	C	D	E	F	G
1	売上日	氏名	所属番号	所属			
2	1月5日	北海道一郎	1	札幌本店			
3	1月5日	青森花子	2	弘前営業所			
4	1月5日	福島四郎	4	郡山営業所			
5	1月6日	北海道子	1	札幌本店			
6	1月7日	宮城二郎	3	仙台支店			
7	1月7日	北海道一郎	1	札幌本店			
8	1月8日	弘前次郎	2	弘前営業所			
9	1月8日	福島六郎	4	郡山営業所			
10	1月9日	青森花子	2	弘前営業所		所属番号	所属
11	1月9日	福島七郎	4	郡山営業所		1	札幌本店
12	1月9日	八戸八郎	2	弘前営業所		2	弘前営業所
13	1月10日	北海道雪子	1	札幌本店		3	仙台支店
14	1月10日	宮城五郎	3	仙台支店		4	郡山営業所

このセル番地に名前の定義をしてしまいます。

例では【所属】と書き換えました。

名前の定義は連番性のないものにします。

連番性のない【所属】は、イコール【F11:G14】なので、オートフィルを使っても大丈夫です。

D2:D14							
=VLOOKUP(C2,所属,2,0)							
	A	B	C	D	E	F	G
1	売上日	氏名	所属番号	所属			
2	1月5日	北海道一郎	1	札幌本店			
3	1月5日	青森花子	2	弘前営業所			
4	1月5日	福島四郎	4	郡山営業所			
5	1月6日	北海道子	1	札幌本店			
6	1月7日	宮城二郎	3	仙台支店			
7	1月7日	北海道一郎	1	札幌本店			
8	1月8日	弘前次郎	2	弘前営業所			
9	1月8日	福島六郎	4	郡山営業所			
10	1月9日	青森花子	2	弘前営業所		所属番号	所属
11	1月9日	福島七郎	4	郡山営業所		1	札幌本店
12	1月9日	八戸八郎	2	弘前営業所		2	弘前営業所
13	1月10日	北海道雪子	1	札幌本店		3	仙台支店
14	1月10日	宮城五郎	3	仙台支店		4	郡山営業所

VLOOKUPは多岐にわたり応用ができ、商品の元データから、商品コードを入力しただけで指定した項目(単価・売上数・売上高等)を検索し表示することが可能です。

また、普段は商品カテゴリを商品カテゴリ番号で管理しているが、会議の資料として商品名の横に表示しなくてはいけないときなど、VLOOKUPはユースフルです。

C9				
=VLOOKUP(B7,A2:C5,3,0)				
	A	B	C	D
1	商品番号	商品名	売上	
2	1	林檎	3000	
3	2	蜜柑	5000	
4	3	水蜜	9000	
5	4	西瓜	7000	
6				
7	商品番号入力	3		
8	商品番号	商品名	売上	
9	3	水蜜	9000	
10				

B3に商品番号を入力  
上にあるデータベースから  
対応レコードを抽出